

新潟市新亀田清掃センター整備・運営事業 建設工事説明会



※本パースはイメージです

① 事業全体に係る説明

内容

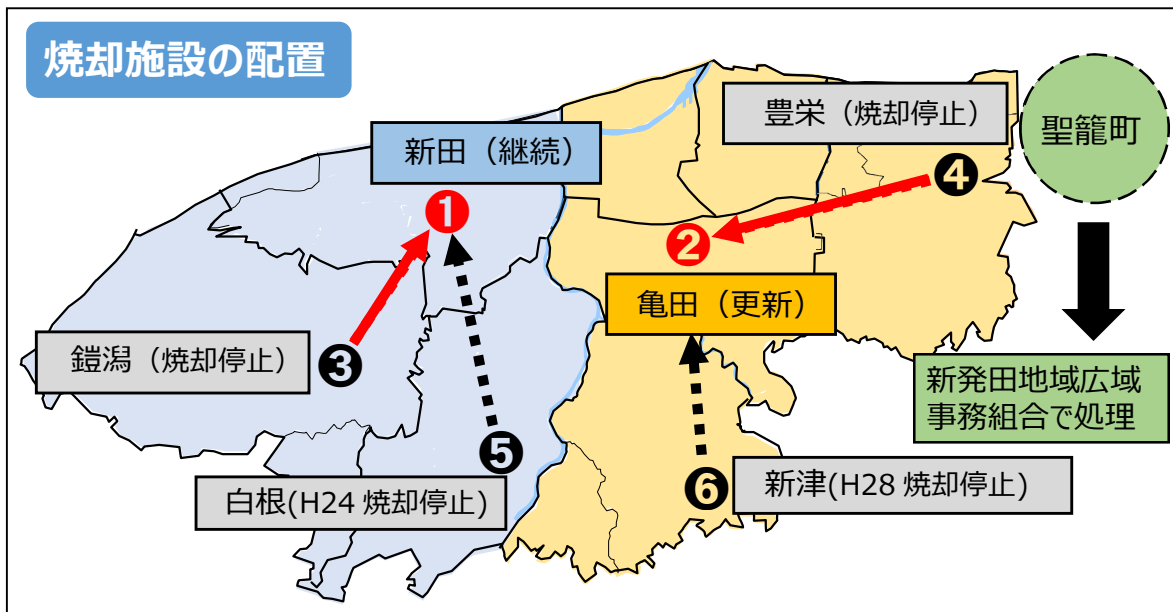
1. 全体事業
2. 新施設の概要

1. 全体事業

動き	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7~R11	R12~
住民説明会		●→		●				●	
環境影響評価			●→→→→→						
基本計画			●→→						
発注準備及び事業者選定					●→→→				
設計・建設工事								●→→→	
施設稼働									●→→
現施設解体									(予定) ●→→



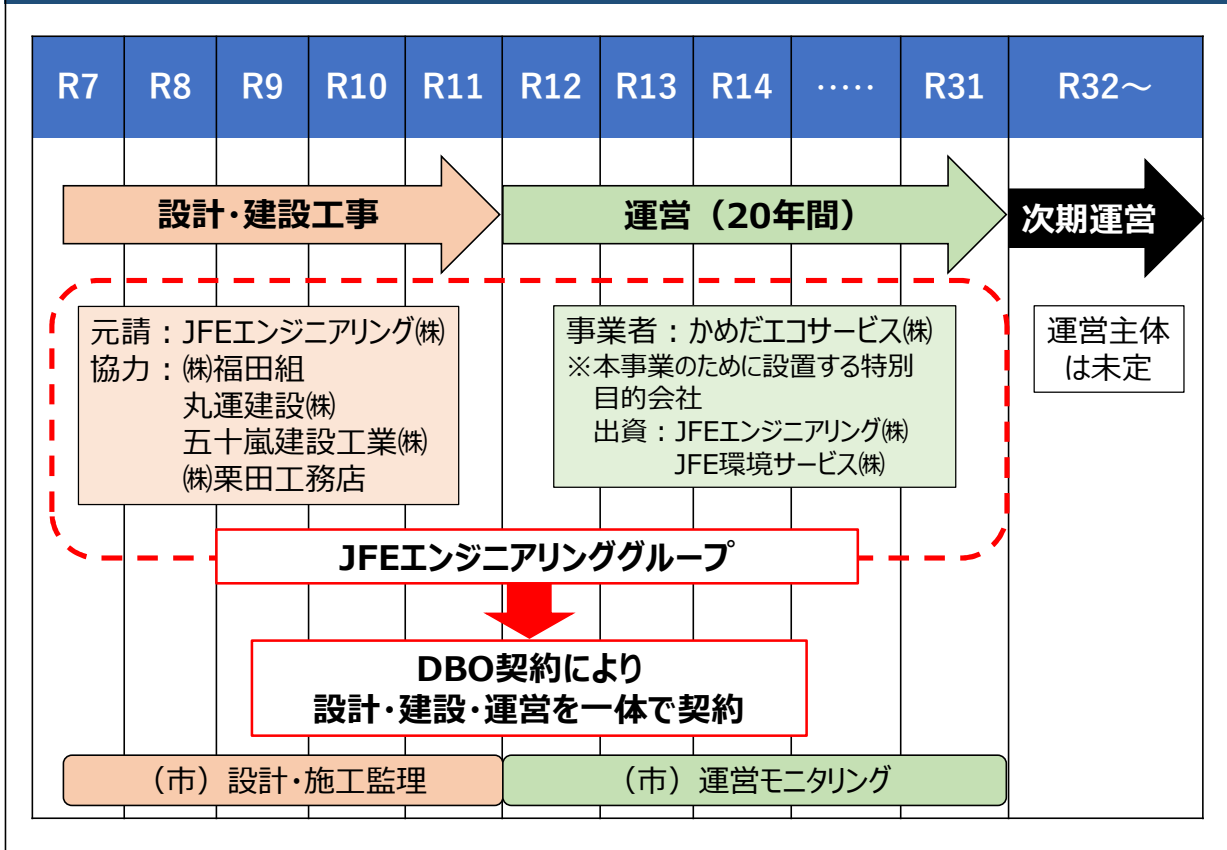
1. 全体事業



施設へのごみの持込について

- ・ 更新後の亀田清掃センターも含み、上記6施設で継続します。

2. 新施設の概要（事業方式・事業者）



2. 新施設の概要（基本事項）

施設規模

420 t/日 (140 t/日×3炉)

発電量 (R12見込み)

約75,000 MWh/年

- ・一般家庭換算で約25,000世帯分
- ・現施設の2倍以上

基本方針

環境にやさしい

排ガス等による環境負荷の低減

安心・安全

安定で確実な処理

低炭素社会を推進

省エネルギー、効率的な発電

災害に強い

防災拠点活用、災害廃棄物の早期処理

経済性

ライフサイクルコストの低減

2. 新施設の概要（環境面への配慮）

法基準等より厳しい基準を設定し、環境負荷を低減します。

排ガス基準

（12% O₂換算値）

項目	単位	法基準値	現施設	新施設
ばいじん	(g/m ³ N)	0.04 (現施設 0.08)	0.02	0.01
塩化水素	(ppm)	430	約215	30
硫黄酸化物	(ppm)	3,000(※)	約100	20
窒素酸化物	(ppm)	250	200	50
ダイオキシン類	(ng-TEQ/m ³ N)	0.1 (現施設 1.0)	0.5	0.1
水銀	(μg/m ³ N)	30 (現施設 50)	50	30

(※)想定される排ガス量、煙突高さ59mの場合の概算値

騒音・振動基準

建設用地は規制区域なし ➡ **直近の規制区域における基準値を適用**

2. 新施設の概要（環境面への配慮）

- R2～R5にかけて、環境影響評価を実施済み
➡**工事中、運営中の環境への影響（予測結果）は、評価基準を満足。**
- 更に、環境保全措置を講じることで影響を低減します。



2. 新施設の概要（避難所活用等）

○施設機能の早期復旧のため、工場棟や搬入道路は盛土によるかさ上げを実施

- 1) 緊急避難場所としての機能
→ 避難が長期化した場合は、スペースとして見学者ホール等を活用（150人以上）
- 2) 備蓄拠点としての機能
→ 災害用備品の確保
- 3) その他の機能
→ 田舟の里の活用



2. 新施設の概要（直接搬入車両による道路渋滞対策）

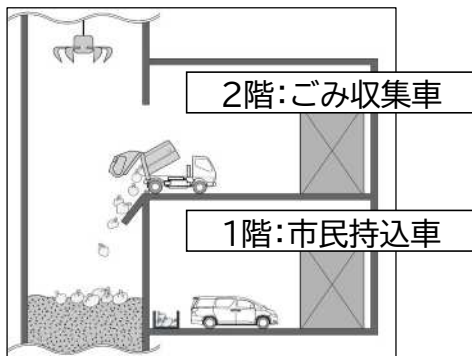
○スペース拡大、受入円滑化により、待機車両の前面道路での滞留を防止します

【対策1】

入口から受付までの車路及び待機スペースの確保

【対策2】

荷下ろし場所増設
荷下ろし場所分離（一部車両除く）



【対策3】

受付・計量・精算の工夫



全体配置計画図

②建設工事に係る説明

内容

1. 建設概要
2. 工事工程
3. 全体仮設計画
4. 交通安全対策
5. 環境対策
6. 田舟の里へ配慮した工事計画

1. 建設概要

建築物の名称	(仮称)新亀田清掃センター
建設予定地	新潟市江南区亀田1835 番地1
建屋構造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造
建屋高さ	39.2m (煙突は59m)
工事着手予定日	令和8年8月中旬 ^(※1)
工事終了予定日	令和12年3月末
工事作業時間	8時～17時 ^(※2)
工事作業休日	日曜日・祝日 ^(※2)

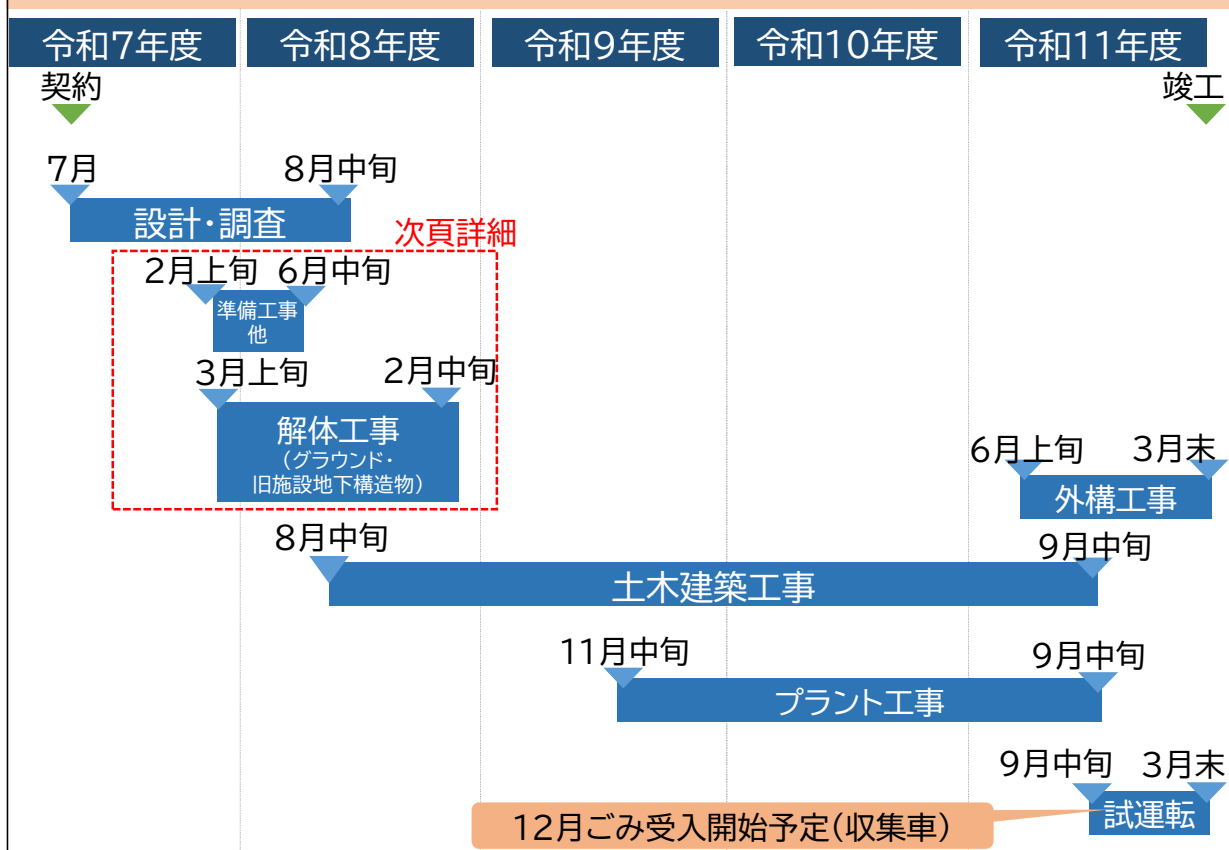
(※1) 新施設建屋の建築における着手であり、現場乗込みは「2.工事工程」参照

(※2) 工事の安全確保や工程の都合により、やむを得ず作業時間や休日を変更する場合があります。

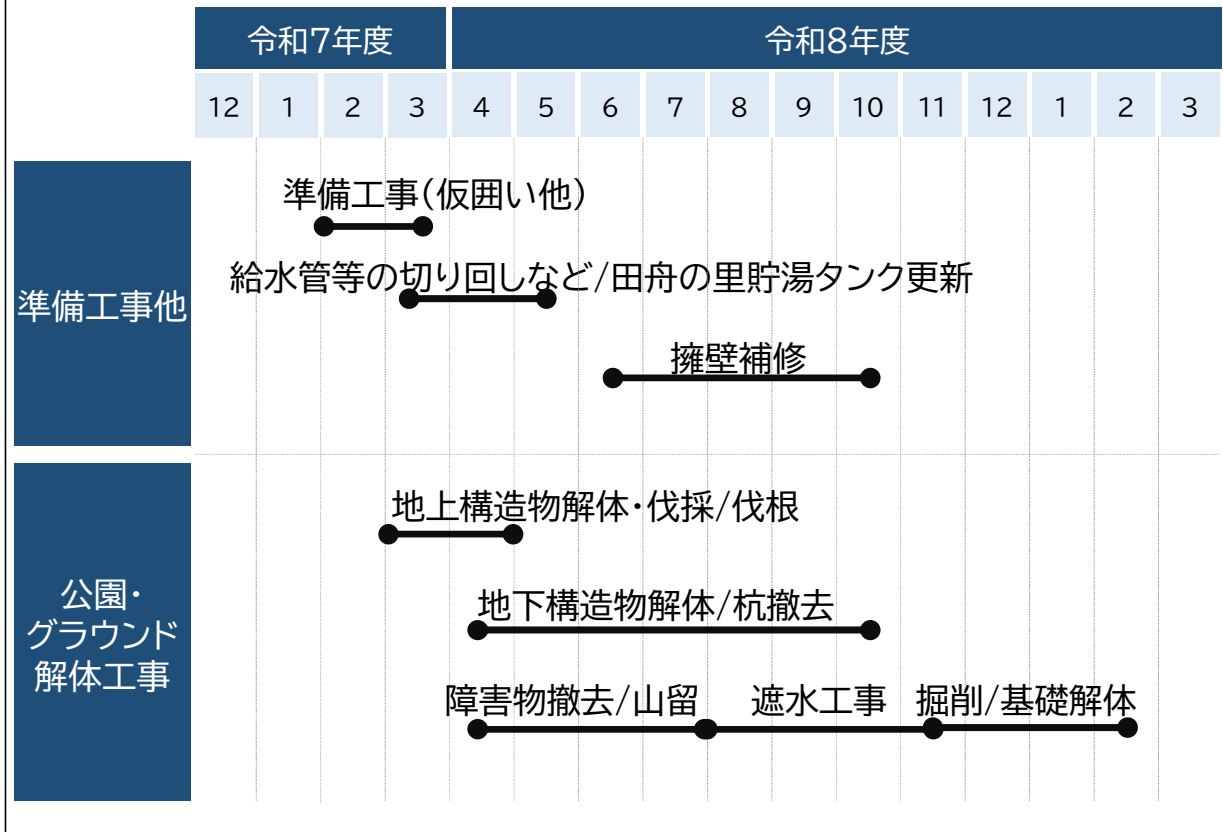
1. 建設概要

建築主	新潟市	用途地域	指定なし
設計者・ 工事施工者	JFEエンジニアリング(株)	防火地域	指定なし
敷地面積	57,825.98㎡ (現施設を含む)	最高の軒 の高さ	39.1m
建築面積	8,343.10㎡	日影の影響	現施設と同程度 ※日影規制は無し
延べ床面積	14,685.29㎡	各階の 主要用途	<ul style="list-style-type: none"> ● 地下1階-地上5階: 清掃工場 ● 地上2階,3階,4階: 事務室、見学エリア
階数	地下1階-地上5階		
基礎工法 の種別	杭基礎・直接基礎併用		

2. 工事工程



2. 工事工程(準備工事他・解体工事詳細)



2. 工事工程～土木建築工事施工事例(新田工事写真より)～

杭打ち工事



土留工事



躯体工事



躯体工事その2



2. 工事工程～プラント工事施工事例(新田工事写真より)～

ボイラドラム



ボイラパネル



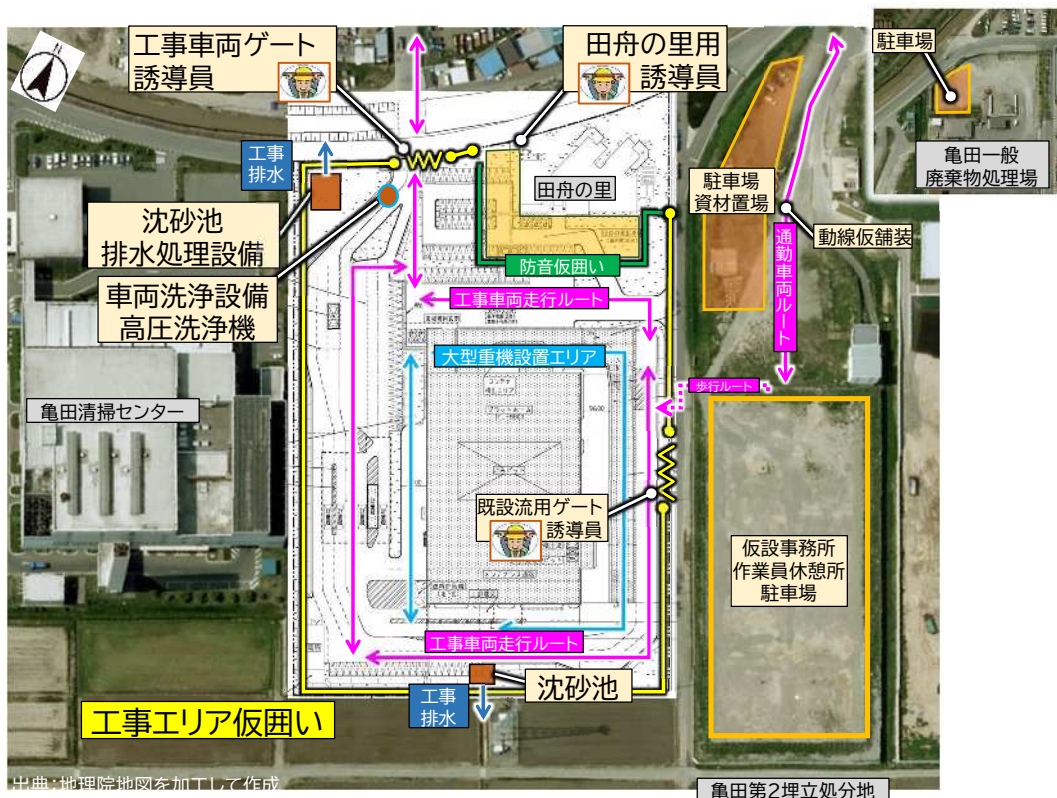
電気室制御盤



炉体鉄骨



3. 全体仮設計画



4. 交通安全対策（工事車両）

工事車両ルート

住宅地近傍を避けた
工事車両ルートを設定します



工事車両台数(1日あたりの最大)(※)

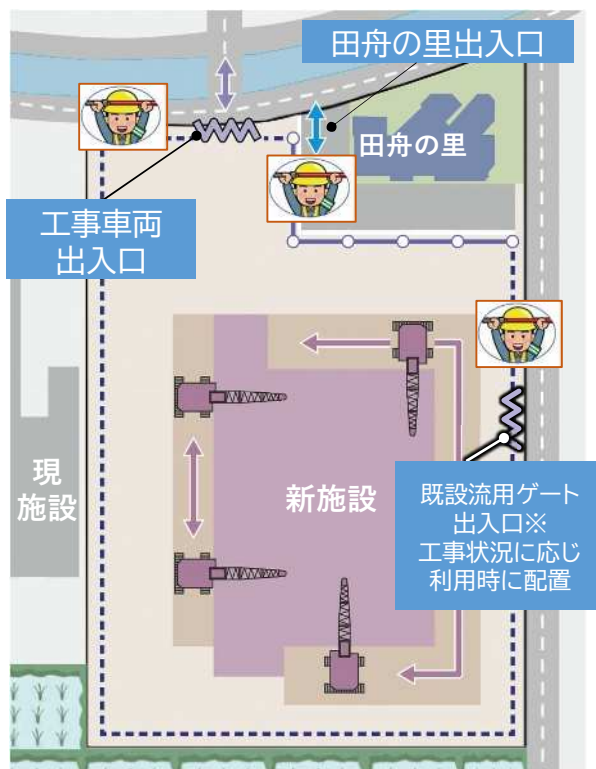
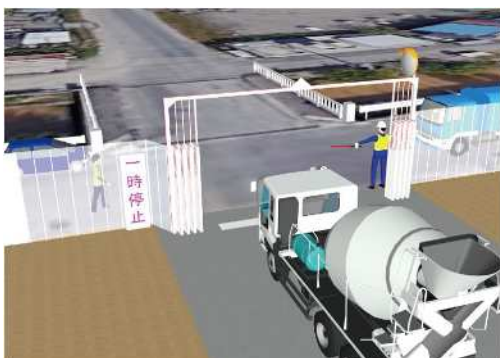
年度	R7	R8	R9	R10	R11
	土木建築工事開始 8月 12月		プラント工事開始 11月		5月
最大台数	40	100	110	40	

(※)資機材搬入車両の1日における最大台数を示しており、毎日ではありません。
通勤車両・宅配便等の混載便・仮設用地との運搬車両は含みません。

4. 交通安全対策（工事車両出入口）

工事車両出入口安全対策

- ① 専用出入口設置
- ② 専任の誘導員配置
- ③ ゲートに透明仮囲設置




5. 環境対策（粉じん）

➤ 工事現場からの粉塵発生・飛散を防止します

目的	対策	効果	
粉じんの発生・飛散防止	飛散予測システム	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ピンポイント予測による効果的な散水により粉塵を発生を予防します 	
	粉塵防止剤	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 長期間仮置きする土砂には、環境対応型粉塵防止剤を使用し、飛散を防止します 	
周辺道路の汚損防止	タイヤ洗浄装置	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 工事現場から退出する際は、タイヤ洗浄を行い、道路の汚損を防止します 	

5. 環境対策（騒音・振動）

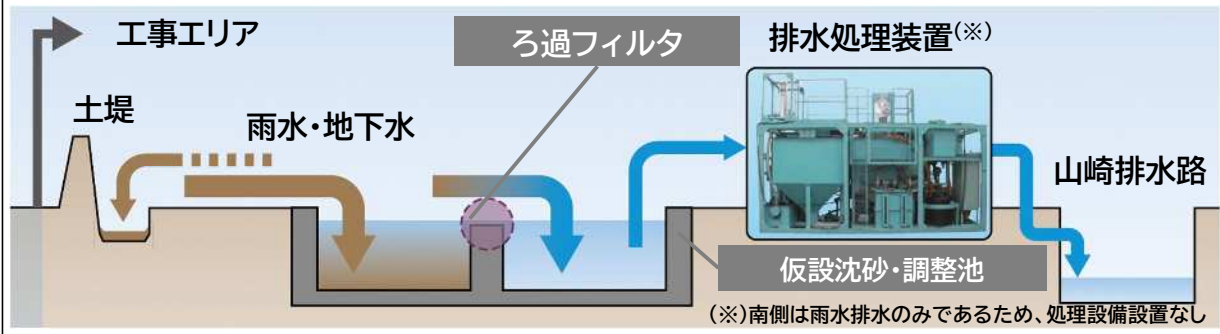
➤ 工事現場の騒音・振動を低減します

目的	対策	効果										
騒音・振動の管理	自主基準値の設定	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 工事現場は、騒音規制法等の指定区域外ですが、自主基準値を設定。 ➤ 自主基準値は指定区域の規制値よりも厳しい基準を設定 	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>規制値※</th> <th>自主基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>騒音</td> <td>85 dB</td> <td>80 dB</td> </tr> <tr> <td>振動</td> <td>75 dB</td> <td>70 dB</td> </tr> </tbody> </table>		規制値※	自主基準値	騒音	85 dB	80 dB	振動	75 dB	70 dB
		規制値※	自主基準値									
騒音	85 dB	80 dB										
振動	75 dB	70 dB										
	連続監視装置の設置	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 連続監視装置の設置により、規制値を確実に遵守 	※騒音規制法等の指定区域に適用									
騒音・振動対策	工事現場内の車両による騒音・振動低減	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 車両の速度監視装置を設け、場内の走行速度を管理 										
	仮囲い設置	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 工事現場全周に仮囲いを設置し、安全確保に加えて、周囲への騒音を低減 										

5. 環境対策（濁水流出防止および雨水・地下排水対策）

➤ 工事現場からの排水による周辺環境への影響を防止します

目的	対策	効果
濁水等の流出防止	仮設側溝 & 土堤	➤ 仮設側溝 や 土堤 を敷地周囲に設け、場外への濁水流出を防止します
	工事現場の濁水等は処理後に排水	➤ 敷地の北側に 仮設排水処理設備 を設置し、工事現場の雨水・地下水は、適正処理後に排水します。 ➤ 処理水の濁度は、 連続モニタリング により、規制値を確実に遵守します



6. 田舟の里へ配慮した工事計画

➤ 田舟の里**利用者の安全**と継続した**利便性を確保**する工事計画とします

目的	対策	
営業の維持	➤ 工事中も一部期間(※)を除き 通常営業を維持 ※熱供給管等の切替や外構工事の際には休館となります ■ 休館期間(予定) 令和8年5月～6月(5日間前後) 令和12年1月～3月頃	
安全	➤ 防音囲いにより、 工事エリアと区画を分離 するとともに、 騒音を低減 ➤ 防音囲いにはイラストを付け、 圧迫感を低減 ➤ 利用者 専用出入口 を設置し、 専任の誘導員 を設置(休工日除く)	

③その他

内容

1. 電波障害の影響
2. 情報の発信方法

1. テレビ放送の電波障害と対策

- 建設工事により、弥彦山方向からの電波が遮られ、施設から**北東方向の一部エリア**のご家庭や事業所において**テレビの映りに支障がでる可能性**があります。
- この場合、下記の流れで、**市・工事業者**で**対応**いたします。

事前調査

- シミュレーションソフトによる影響検討
 - 現状の電波状況調査(現地調査)
- 障害発生予測
エリアの特定

予測エリアの 方への周知

- 障害発生予測エリアへの説明文書配布
- 建設工事説明会の開催(本日)

工事着工

障害発生の可能性があるのは、
上層階の工事が始まる**令和9年の春以降**

障害が発生 した時

近隣の方

市に、**ご連絡**をお願いします。
(循環社会推進課 整備グループ 226-1427)

市・工事業者

状況調査・判定

建設工事の影響の場合

市・工事業者

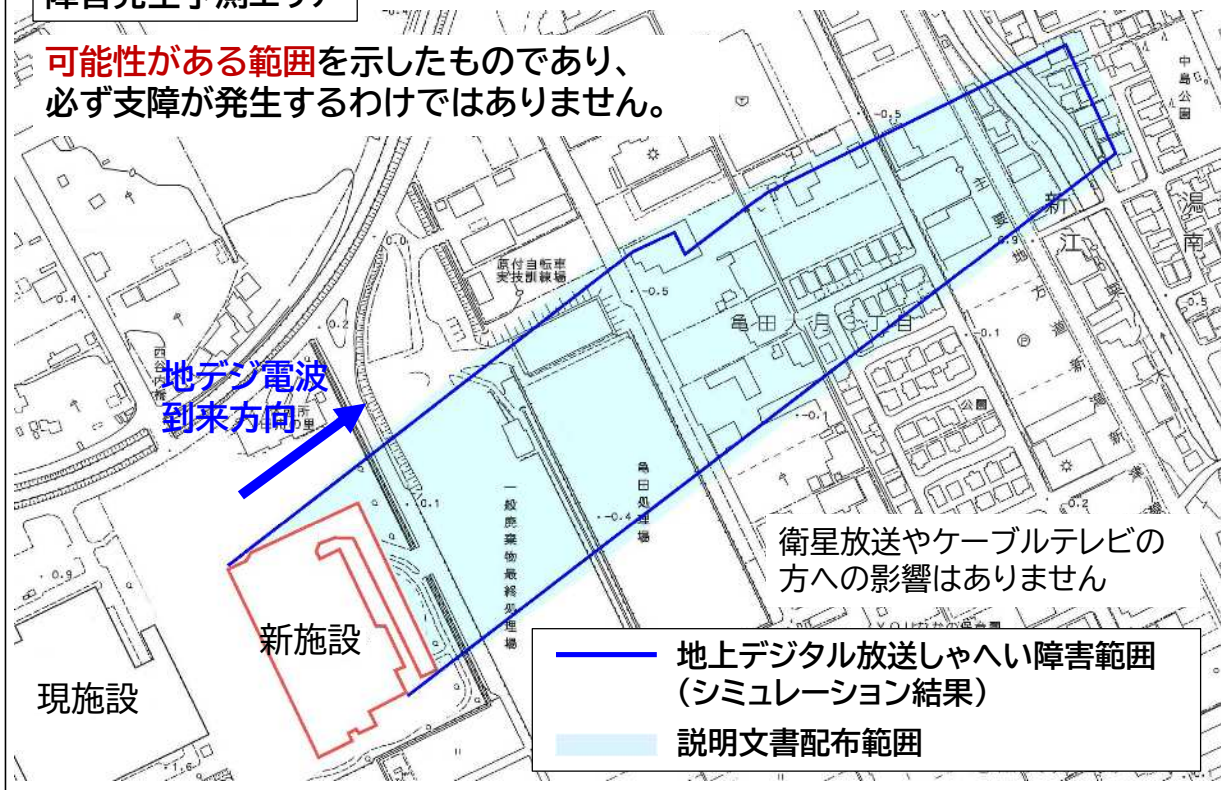
対策実施

- アンテナの調整や交換
- ブースター設置
- ケーブルテレビへの切替 など

1. テレビ放送の電波障害と対策

障害発生予測エリア

可能性がある範囲を示したものであり、必ず支障が発生するわけではありません。



2. 情報の発信方法

- 建設工事の進捗は専用のホームページを後日開設し、配信予定です



(注) 上記はイメージになります。
(建設工事写真は、新田清掃センター建設工事の写真を引用)

おわりに

周辺環境に十分配慮し、工事を安全に進めてまいります。
また、より良い施設づくり、適正な施設管理を行ってまいります。

地域の皆様におかれましてはご理解・ご協力のほどよろしく
お願い申し上げます。

お問い合わせ先

【本事業に関すること】
新潟市
環境部循環社会推進課
TEL：025-226-1427

【工事に関すること】
JFEエンジニアリング株式会社
現場事務所
(R8年4月より開通予定)
TEL:025-212-2495

【現施設に関すること】
亀田清掃センター
TEL：025-382-4371

ご清聴ありがとうございました



※本パースはイメージです